事業事前評価表

国際協力機構アフリカ部アフリカ第四課

１．案件名（国名）

国名：ブルキナファソ国
案件名：保健社会向上センター建設計画
（Project for Construction of the Health and Social Promotion centers）

２．事業の背景と必要性

(1) 当該国における保健医療セクターの開発実績（現状）と課題
ブルキナファソ国（以下、「ブルキナファソ」）では、妊産婦死亡率（560 人/10 万人、2008 年、世界銀行, Africa Development Indicators, 2011)、5 歳未満児死亡率（176 人/1,000 人、2010 年、世界銀行, Africa Development Indicators, 2011）等の保健指標に示されるとおり、サブサハラアフリカ諸国の中で極めて劣悪な状況にある。これは一般傷病の診療、妊産婦ケアと出産サービス、定期予防接種などの基礎医療サービスへのアクセスが十分確保されていないことが主要因の一つとされている。ブルキナファソにおいてはこうした基礎保健サービスを提供する第一次保健施設が、「保健社会向上センター（Centre de sante et de promotion sociale, CSPS)」であり、国民の誰もがプライマリヘルスケアに手が届く環境を実現させるために CSPS の果たす役割は大きく、その拡充が急務とされている。
(2) 当該国における保健医療セクターの開発政策と本事業の位置づけ及び必要性
ブルキナファソ政府は貧困削減戦略文書（2000 年発表）及びこれに続く「成長加速と持続発展のための戦略（2011－2015)」においても、一貫して保健セクターを重点分野として位置付け、住民から基礎保健サービスまでのアクセス改善、基礎保健サービスの質の向上と利用の増大に力を注いできた。また、「国家保健開発計画（2011－2020)」の中でも、基礎保健サービスの提供能力向上（すなわち、基礎保健サービスのアクセス改善）を主要戦略に掲げ、診療圏人口 5000 人（目安）毎に CSPS を設置し、１CSPS あたりの診療圏半径を現行の平均 7.49 Km（2009 年） から 5Km まで削減させることを目標としているが、政府がそのために必要な独自予算を確保することは困難な状況にある。本要請の対象サイトは、住民から最寄りの CSPS までの距離（平均）が 23Km（全国平均の 3 倍以上）であり、本事業の実施必要性は極めて高い。
(3) 保健医療セクターに対する我が国及び JICA の援助方針と実績
わが国は MDGs 達成に貢献するため、国際保健政策（2011-2015）において、「妊産婦と新生児の死亡率削減のための効果が証明されている保健サービスパッケージの導入と、乳幼児の死亡率削減のための効果の高い保健施策の拡大を通じ、妊産婦と乳幼児死亡率の更なる低下を目指す」という目標を掲げている。また、本案件はアフリカ開発会議（TICAD） Ⅳ において採択された横浜行動計画の中の「保健システムの強化（病院、保健センターの改善)」に合致しており、本件との整合性は高い。対ブルキナファソ事業展開計画では、重点分野「社会サービスへのアクセス改善」のうち「保健サービス強化プログラム」に本件は位置づけられる。なお、近年の対ブルキナファソ保健セクターの援助実績は以下のとおり。

・技術協力個別案件(機材)　蚊帳供与（2003）
・無償資金協力「マラリア対策計画」(2007)
(4) 他の援助機関の対応
アフリカ開発銀行(2001-2005)、台湾(2006-2009)、イスラム開発銀行（2005-2009）による CSPS 建設支援実績あり。

３．事業概要

(1) 事業の目的（協力プログラムにおける位置づけを含む）
本事業は、ブルキナファソ 4 州 10 保健行政区 39 か所のサイトにおいて、基礎保健インフラである CSPS 施設・機材を整備することにより、対象地域における保健医療へのアクセスの改善を図ることを目的とする。
(2) プロジェクトサイト/対象地域名
ブックル・ド・ムーン地方（デドュグ県、ソレンゾ県、ヌナ県、トゥガン県)、カスカード地方（バンフォラ県、マンゴダラ県)、南西地方（ディエブグ県、バティエ県)、中西地方（サプイ県、レオ県）
（推定対象人口：総計約 23 万人、うち出産可能年齢女性 5.3 万人、5 歳未満児 4.4 万人）
(3) 事業概要
1) 土木工事、調達機器等の内容
【施設】保健社会向上センター(CSPS)39 施設の建設　（以下は 1CSPS の標準仕様：一般診療棟、産科棟、一般サービス等、保健医療従事者宿舎、ポンプ式深井戸、簡易ソーラーパネル、CSPS 内家具)
【機材】診察台など診療用資機材一式
2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容
CSPS の日常的維持管理を担う住民組織、保健運営委員会(COGES)の組織化支援
3) 調達・施工方法
一般競争入札により選定された現地建設会社が施設建設を行う。
(4) 総事業費/概算協力額
総事業費 15.1 億円（概算協力額（日本側)：15 億円、ブルキナファソ側：0.1 億円）
(5) 事業実施スケジュール（協力期間）
2012 年 7 月～2015 年 4 月末を予定（計 34 か月）
(6) 事業実施体制（実施機関/カウンターパート）
中央レベルでは、保健省調査計画局（DEP）および医療インフラ局（DIEM）が、建設地域においては地方保健局(DRS)および保健行政区局(DS)が本件を担当する。
(7) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発
1) 環境社会配慮
① カテゴリ分類：C
② カテゴリ分類の根拠：小規模の保健施設整備を目的としており、特筆すべき負の影響はなし。
2) 貧困削減促進：一次医療サービスへのアクセス改善により、貧困層の経済的負担軽減に寄与する。
3) ジェンダー：特に妊産婦と乳幼児は、健康リスクが高いため、一次医療施設へのアク

セス向上は母子保健の改善に大きく貢献する。

(8) 他援助機関等との連携・役割分担：概要説明調査において他ドナー(NGO)による CSPS 建設計画が進んでいることが確認されたサイトは協力対象外とした。一方、先方から要請のあった代替サイトについては、当該サイト現地調査を通じ、適正であることが確認されたため、同代替サイトを協力対象に含めることとした。

(9) その他特記事項：現段階では特になし。

４．外部条件・リスクコントロール

(1)事業実施のための前提条件

・CSPS 建設に係る用地が適切に確保される。

(2)プロジェクト全体計画達成のための外部条件

・ブルキナファソの治安が悪化しない。ブルキナファソの保健政策が大幅に変更されない。

・CSPS に必要な保健医療従事者が確保される。

５．過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

（1）類似案件の評価結果

ブルキナファソにおいて「第四次小学校建設計画」等、他セクターの無償資金協力実績から、施設の維持管理のためのコミュニティレベルでの体制整備の重要性、また体制整備に係るソフトコンポーネントの有効性が指摘されている。

（2）本事業への教訓

施設の維持管理体制を確実なものとするため、現地のリソース（人材、教材）を活用しながら、ソフトコンポーネントによる支援を計画する。

６．評価結果

以下の内容により本案件の妥当性は高く、また有効性が見込まれると判断される。

(1) 妥当性：本事業は「2. 事業の背景と必要性」で記述のとおり、ブルキナファソの開発ニーズ・課題及び政策、並びにわが国の援助方針と十分合致している。

(2) 有効性

1) 定量的効果

指標名	基準値	目標値（2018 年）【事業完成３年後】
対象地域における CSPS の診療圏半径の平均(km)	9.16（2009 年）	8.22
対象地域(10 保健行政区)における住民一人当たりの年間受診数(回)	0.58(2010 年)	0.64

2) 定性的効果

ア 一次医療施設へのアクセスが容易になることから、対象地域における基礎医療サービスの改善に寄与する。

イ CSPS の日常の運営・維持管理を担う運営委員会（COGES）の組織化・研修指導により、対象 CSPS における COGES の組織化が促進される。

７．今後の評価計画

(1) 今後の評価に用いる主な指標

6.(2) 1)のとおり。

(2) 今後の評価のタイミング

・事後評価　　事業完成３年後

以　上